

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 単位 2  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者： 大倉 卓月  
 使用教科書： 歴史総合（東京書籍）  
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期などの関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組むとともに、自身とのかかわりを踏まえて学習を振り返り、次の学習へのつながりを見出そうとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○より良い社会の実現を視野に、自身とのかかわりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、その諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する活動を通して、それらが日本や日本周辺地域、および世界の歴史とつながっていることを理解する。	○歴史の扉 (1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料	○私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ○複数の資料の関係や異同に注目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 ○科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	3
	○近代化の歴史に関わる諸事象のうち「労働と家族」に関する複数の資料を活用し、それらの資料から情報を読み取ったりまとめたりする学習活動を通して、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、本省の学習に対する見通しを立てる。	○近代化と私たち (1) 近代化への問い	○近代化に伴う生活や社会の変容について諸資料から情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 ○近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ○近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
	○18世紀の東アジア諸国の外交に着目して、18世紀の東アジア諸国における経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀の東アジア諸国同士の国際関係やそれぞれの国の経済発展について理解する。	(2) 結びつく世界と日本の開国	○18世紀の東アジア諸国の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。 ○18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築き、どのような経済発展をしていったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○18世紀のアジア経済と社会について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	○18世紀後半以降の欧米の市民革命の動向を理解し、政治変革の特徴などに着目して、主題を設定し、社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	(3) 国民国家と明治維新	○市民革命と、市民社会の形成について、諸資料から読み取り、理解している。 ○アメリカ独立革命やフランス革命が世界にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○立件体制と国民国家の形成について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	○自由・制限の観点を基に、貿易に関する問題について主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	○近代化と現代的な諸課題 (4) 近代化と現代的な諸課題	○現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解し、説明している。 ○近代化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ○「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	2
○「国際関係の緊密化」「アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭」「植民地の独立」「大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化」「生活様式の変化」などのうちからテーマを1つ選び、資料を活用しながらそのテーマに沿って国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	○国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 ○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2	

2 学 期	○近代化と大衆化の関係に着目し、20世紀前半に世界の諸地域で進展した大衆の社会参加の要因や影響を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、大衆化の進展が20世紀以降の社会や国際関係をどのような影響を与えたといえるかを多面的・多角的に考察し、表現することで、大衆社会について理解する。	(2) 第一次世界大戦と大衆社会	○大衆化による人々の生活の変化について諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ20世紀前半に大衆化が進んだのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	○世界恐慌がなぜ発生し、各国はどのように対応したのかという点に着目し、各国の対応策を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、世界恐慌とその対応について多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界恐慌が戦間期の時代の転換点となったことを理解する。	(3) 経済危機と第二次世界大戦	○世界恐慌が発生した過程と、それに対するそれぞれの国の対応の相違について、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ世界恐慌が発生したのか、それに対して各国がどのような状況に陥り、どのように対応したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○国際協調体制の動揺について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	米軍基地をめぐる対立・協調の観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明している。 ○国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ○「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	2
3 学 期	○グローバル化に伴い、生活や社会が変化したことを示す資料を活用して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。また、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	○グローバル化と私たち (1) グローバル化への問	○グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 ○グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ○グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
	○冷戦の対立が拡大する一方で緊張緩和の動きも見られたことと第三勢力が台頭してきたことに着目し、冷戦体制における対立と緊張緩和の状況を比較したり、冷戦構造と第三勢力の台頭とを関連付けたりするなどして、冷戦体制がどのように転換し、第三勢力がどのように影響力を拡大したかについて多面的・多角的に考察し、表現することを通して1950年代半ばから60年代頃の世界について理解する。	(2) 冷戦と世界経済	○冷戦構造が世界的に拡大する一方で共存の道を歩む様子や、その中で第三勢力が台頭してくる過程について、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ冷戦が拡大しながらも共存を模索していったのか、また、そのような国際情勢下になぜ第三勢力が台頭してくるのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○国際政治の変容について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	○欧米先進国や日本の経済成長の特徴について着目し、経済成長の背景や要因、その影響に関する諸資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現することを通して、欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。	(3) 世界秩序の変容と日本	○欧米先進国や日本の経済成長がどのように展開し、どのような社会の変容を生み出したのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ欧米先進国や日本が経済成長を果たしたのか、また、その経済成長がどのような影響を社会に与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。	○	○		8
グローバル化の進展によって世界が抱えた問題点や、その解決に向けての取り組みについて、諸資料から読み取り、考察し、表現する。	(4) 現代的な諸課題の形成と展望	○グローバル化や地域統合、民主主義がどのような問題点を抱え、解決のためにどのような取り組みをしているのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ○冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の				2	
合計							

		特徴と日本の役割などについて考察し、結果を表現している。 ○冷戦終結後の国際政治の変容と課題について振り返り、自ら学習を調整しようとしている。	○	○	○	70
--	--	--	---	---	---	----